

# 自民 絶対安定多数 維新躍進、衆院第二党に

わ新選組は公示前の「から三に伸ばし、社民党は一を維持した。「NHKと裁判しての党弁護士法七二条違反で」（公示前）は議席を得られなかつた。

総務省が発表した確定投票率は、小選挙区55・93%、比例代表55・92%。二〇一七年の前回衆院選（小選挙区、比例代表とも53・68%）を小選挙区で2・25ぼ上回つたが、戦後三番目に低い水準となつた。

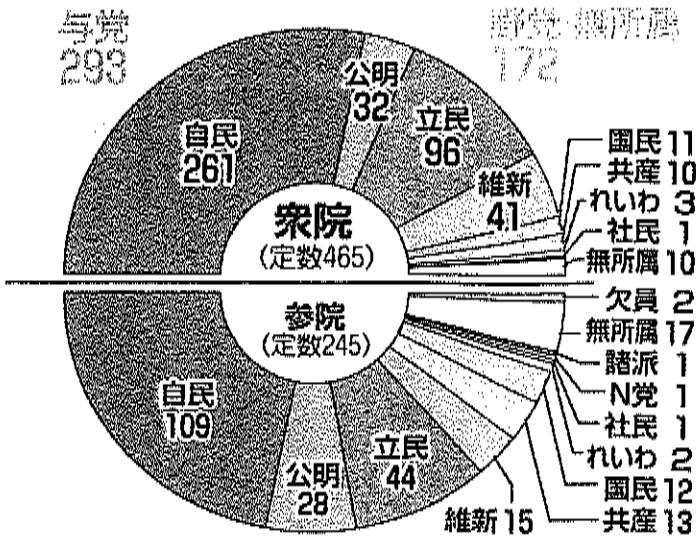
今回は九政党などから計千五十人が立候補した。現行制度下で最も少なかつた（五年衆院選の千百三十人を下回り、最少を更新した）。

◇

自民党は東京15区の柿沢未途氏と、奈良3区の田野瀬太道氏を追加公認した。

第四十九回衆院選は一日未明、全四百六十五議席の当選者が確定した。自民党は過半数（二百三十三）を超える一百五十九議席を獲得。追加公認一人を含め、

## 国会の新勢力



\*当選後の追加公認（自民2人）はその政党に含めた。  
正副議長は所属政党に含めた

国会運営を主導できる絶対安定多数（一百六十）に単独で達した。公明党の三十二議席を合わせ、与党で二百九十三議席を確保した。立憲民主党は公示前の百十から十四減の九十六。日本維新の会は公示前の十一から四十一へ大きく伸び、衆院第二党に躍進した。公明党は三増、共産党は一減で十。国民民主党は三増の一十一だった。

岸田文雄首相（自民党総裁）は一日の記者会見で「二百六十一議席という貴重な支援をいただいた。責任政黨として国民の負託に応えていく」と表明した。れい